HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2018
3·20
No.42

【特集】
今年で8年目 フラワーバレンタインキャンペーン

◎ PICK UP FLOWER SHOP　あなたの街の花屋さん
◎ 福岡花市場展示商談会を開催しました
◎ 日持ち性向上福岡セミナーが開催されました
◎ FLOWER SUMMIT in FUKUOKA が開催されました
◎ 田川・飯塚地区にて若者育成事業を実施しました
◎ 花育活動報告
◎ 部会活動報告

花金鳳花（はなきんぽうげ）の
別名をもつラナンキュラス。

キンポウゲ科の植物は
美しい花が多いことで知られますが、
ラナンキュラスはその代表格。

ころんとした団子のような蕾が
少しずつふんわりと開き、
開き切った花のサイズは蕾の2、3倍に。
繊細な花びらが幾重にも重なった
たっぷりとしたフォルムは
華やかさと豊かさを感じさせてくれます。

森羅万象に色がよみがえる季節の到来です。
あたたかな光と温度に反応して開く
色鮮やかなラナンキュラスの花びらの間からも
春の香りが立ちのぼってくるようです。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.42

国道560号、姪浜通りに面して建つ

当店は地下鉄姪浜駅から徒歩5分の商業施設「ウエストコート姪浜」内にある花屋です。切り花を中心に、鉢物、プリザーブドフラワー、ハーバリウムなど幅広い品ぞろえ。生産者の方が丹精込めて作ってくださる花をできるだけ長く楽しんでほしいという思いから、水揚げにこだわりがあります。オリジナルの栄養剤を使って切り花の水揚げをしていて、さらに花を購入したお客さまにも栄養剤をプレゼント。購入後も花が長持ちするうえ、つぼみがきれいに開花すると好評です。

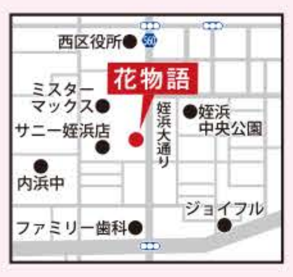
当店では、花のある暮らしを身近に感じてもらえるような取り組みをしています。その一つが「ウイークエンドフラワー」。ワンコイン以下の手頃なミニブーケを入り口に並べ、気軽に手にとっていただけるようにしています。ほかにも、幼い頃から花に親しんでもらえるよう、小さなお子さんに花をプレゼントすることも。花がそばにあるだけで癒される感覚を知って、花に興味をもっていただけるようになるとうれしいですね。

アレンジメントは540円から

フラワーキーパーには色とりどりの花が並ぶ

FLOWER SHOP
花物語
（セリ番号　7）

DATA
所在地：福岡市西区内浜1-7-8-2
TEL：092-881-1231
営業時間：11:00～20:00
休み：無休



FLOWER SUMMIT in FUKUOKA が開催されました

2月16日（金）に花の国日本協議会九州沖縄ブロックが主催する「フラワーサミットｉｎ福岡」がWITH THE STYLE FUKUOKA（福岡市博多区）で開催されました。定員は120名でしたが、当日受付もあり、125名の方にご参加いただきました。

16時から開催されたフラワーサミットでは、講演会、パネルディスカッション、分科会、懇親会が行われました。

講演会では、「2018年フラワーバレンタイン活動速報」として、花の国日本協議会 和田事務局長より東京を中心とした事例を、九州沖縄ブロック事務局の古藤より福岡県内で行われた事例を紹介しました。

パネルディスカッションでは、花の国日本協議会理事長 井上英明氏、副理事長 磯村信夫氏、副理事長 宮嶋浩彰氏がステージに登壇し、店舗経営や業態別の状況、日比谷花壇が葬祭に取り組む状況、市場改革や農家、消費拡大の重要性についてお話いただきました。

17時30分には高島福岡市長がステージに登壇。1月4日の年頭記者会見でお話いただいたフラワーシティ福岡「一人一花」運動や「一企業一花壇」運動について、わずか15分ではありましたが熱弁をふるわれました。

分科会では、井上理事長は「ブランドづくりについて」、宮嶋副理事長は「葬祭事業について」、磯村副理事長は「農業改革・市場改革について」のテーマ別に分かれ、参加者はそれぞれ興味をもっているテーマに参加。普段疑問に思っていることや、経営のノウハウ、花業界のこれからについて、パネラーの皆さんと熱い議論を交わされました。

その後の懇親会では、生産者、市場、花屋、資材業者などそれぞれの立場を超え、積極的に情報交換を行っていました。

フラワーサミット終了時には、参加者から「エネルギーをいただきました」、「また九州（福岡）でやってほしい」、「こんな充実した勉強会は初めて」、「来てよかった」、「みんなでムーブメントを起こす」などの意見をいただきました。

▲高島市長に福岡市の取り組みをご紹介いただきました

▼パネラーを囲んでの討論も行われました

花育活動報告

福岡県花卉農協は、福岡市花育体験校モデル事業として、福岡市と合同で福岡市内の小・中学校7校にて花育活動を行っています。

2月1日（木）には、福岡市立大原小学校（福岡市早良区）にてフラワーアレンジメント教室を実施。同校の5年生2クラス63人が参加しました。

フラワーアレンジメント教室は、「ハナヒロ」の川崎一彦氏を講師として、各クラスで行いました。児童たちは、福岡県産のカーネーションやバラなどを使用し、約100分の授業時間の中でドーム型のフラワーアレンジメントを作り上げました。

田川・飯塚地区にて若者育成事業を実施しました

1月24日（水）にパドドゥ・ル・コトブキ（飯塚市）にて、田川・飯塚地区若者育成事業研修会を実施しました。当日の天候は大雪となり、JRのダイヤの乱れや車で来られないほどの大雪となりましたが、飯塚地区の若者育成事業登録者および40歳以下の生産者の方や、同地区の普及センター職員の方などあわせて17名にご参加いただきました。

研修会には講師として施設園芸用の農業資材などを扱われている（株）誠和の肥料部部長 田中郁也氏および同社の名井健氏をお招きしました。両氏には「施設管理の重要性」という題で、（株）誠和のこれまでの実績や研究事例などをご紹介いただきながら、施設の換気、ＣＯ２、光合成、湿度、暖房などの重要性についてお話しいただきました。

部会活動報告

バラ部会

バラ部会員8名は、平成29年11月24日（金）～25日（土）に県外視察を実施し、滋賀県守山市にある國枝バラ園を訪問しました。

國枝バラ園はバラを生産するとともに、オランダの種苗会社Dümmen Orangeの日本代理店としてオランダのバラ種苗を販売しています。

視察させていただいた温室は、平成29年1月に完成したものです。約5000坪の温室は日本最大の広さを誇り、93列の栽培ベッドが並んでいました。生産にはオリジナルの養土を使って20品種を作付けし、年間400万本の出荷を目指しているそうです。

設備面では、オランダの技術を導入しつつ日本の気候に合わせて独自の調整を行っており、冷暖房機やパッドアンドファン、ナトリウムランプによる補光装置などを完備しています。冷房は冷水を使用し、夏場でも室温は最高28℃に保たれているそうです。また、温室内の空気を用い、温度、湿度、二酸化炭素濃度を調整した気体が、温室内の密閉されたビニールのダクト内に溜められていました。全自動の農薬散布には1回で約6トンの水を使用することから、温室外には巨大な貯水タンクが設置されていました。

選花場に入る前にはエアシャワー室を通り、靴カバーをつけるなど、衛生管理は精密機械の工場のように徹底されています。

併設された展示場では、現在流通している品種とともに未発表の品種も多く展示されていました。

併設の展示場。未発表の品種も多く並ぶ

選花台は、誰でも簡単に規格別の選花ができるよう工夫されている

キク部会

キク部会員9名は、平成30年1月9日（火）～10日（水）に沖縄県を視察しました。

まず、沖縄県花卉園芸農協の集配センターを訪問しました。視察時はちょうど荷物が到着したところで、次々とコンベアの上を流れていく荷物はバーコードを読み取られ、一部は抜き取り検査が行われながら仕分けをされていました。平成29年末のピーク時には1万4000／日ケース、3月のお彼岸時には2万／日ケースが全国の約100市場に出荷されたとのことです。

沖縄県花卉園芸農協管内では、菊の栽培を始めて40年になるそうです。今までは夏秋菊を栽培し、11月～4月に出荷をしていましたが、取引市場からお盆出荷の要望が出ており、そのため、現在夏菊を用いて試験をし、品種の選定作業を進めているとのことでした。

続いて、小菊と輪菊の生産圃場を視察させていただきました。視察した4圃場すべてでオリジナル品種が作付けされていました。圃場によって生育のばらつきが見受けられ、土壌や水管理の影響と思われました。近年は、病害よりも虫害がひどいとのことです。とくにスリップスの防除に苦労されているそうで、一斉防除を行っているものの次々と発生するので、効果的な手段が見当たらない状況とのことでした。

集配センターにて

［はなこ］3月号　2018年3月20日発行
通巻130号
● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
● 企画・印刷 有限会社 大進印刷
編集・（株）クロス編集事務所

HANACO
はなこ

特集

今年で8年目
フラワーバレンタイン キャンペーン

2018年で第8回目となるフラワーバレンタイン。新しい花文化の創出と消費拡大へ向け、花贈り習慣の〝きっかけづくり〟を目指します。

キャンペーン始動!!

1月15日(月)より、フラワーバレンタインのPRキャンペーンが始動。福岡花商協同組合様と北九州生花商協同組合様にご協力いただき、15日のセリ開始前に、福岡花市場および北九州花市場の買参人の方々へキャンペーン参加の呼びかけを行いました。

また、各場内仲卸店舗にご協力いただき、「フラワーバレンタイン」のポスターやのぼりを店頭に設置し、買出人のみなさまへ呼びかけを行いました。

さらに、花市場職員はウィンドブレーカーや缶バッジを着用し、フラワーバレンタインへの機運を高めていきました。

フラワーバレンタイン福岡アンバサダー

福岡では2016年より、福岡で「花贈り指南役」として影響力のある方に「フラワーバレンタイン福岡アンバサダー」へご就任いただいています。2016年はTVやラジオでおなじみの中島浩二氏、2017年は高島宗一郎福岡市長にご就任いただきました。

2018年1月より福岡市では「Flower City Fukuoka」を掲げ、花と緑があふれ、豊かな心が育まれるまちへ「一人一花」運動プロジェクトを立ち上げ、高島市長が先頭に立って、この取り組みを推進しています。そこで、2018年の「フラワーバレンタイン福岡アンバサダー」についても、引き続き高島市長がご就任し、フラワーバレンタインのPRをしていただきました。

New マリノアシティ福岡

九州最大級のアウトレットモール「マリノアシティ福岡」（福岡市西区）にて、2月10日(土)～12日(月祝)に、福岡県花き園芸連合会主催、福岡県花卉農協バラ部会協力のもとフラワーバレンタインのイベントを実施しました。

イベント期間中、マリナサイド南棟1階にあるフードコート横に福岡県産の花きを使用したオブジェを設置。マリノアシティを訪れたお客さまは、オブジェの前で記念撮影をされました。

また、マリノアシティのテナントとコラボ企画を実施。ご協力いただいた5店舗にて、フラワーアレンジメントとPOP、ポスターを使用したミニ展示を行い、来店者の方に一輪花をプレゼントしました。

さらに、11日(日)～12日(月祝)には一行メッセージの募集を行い、メッセージを書いていただいた方には、バラを一輪プレゼントしました。

コラボ店舗 ピオニア様にて

New 福津市

福津市主催の「福津の花学校」PRイベントとのコラボ企画を実施。フラワーバレンタインを通して、福津市内の花きの消費拡大を図りました。

イベントは2月10日(土)～11日(日)に、イオンモール福津（福津市日蒔野）の1階サウスコートにて開催しました。期間中は、フラワーオブジェを展示して、男性向けアレンジメント教室や親子フラワーアレンジメント教室、寄せ植え教室を開催し、多くの方にご参加いただきました。

男性向けアレンジメント教室などを開催しました

New 住宅展示場

福岡県花き園芸連合会は、花のある生活空間を連想することのできる住宅展示場とのコラボ企画を実施しました。

2月9日（金）～13日（火）にRKB住宅展示場小倉北（北九州市小倉北区許斐町）とRKB住宅展示場小倉南（北九州市小倉南区朽網）にて、北九州生花商協同組合青年部様のご協力のもとフラワーオブジェを展示しました。

また、2月11日（日）にご来場者いただいた方には一輪花のプレゼントを行いました。

小倉南にて

New 三越「ショコラセレクション」

福岡三越が主催するチョコレート催事とフラワーバレンタインのコラボ企画が実現。2月9日(金)～14日(水)の催事期間中、9階催事場の入り口に特設ブースを設置し、チョコで作られた「ショコライオン」と一緒にお花の展示を行いました。

また、日比谷花壇店様にご協力いただき、「さくらに願いを」キャンペーンを実施。三越を訪れたお客様に、家族や恋人、ご友人への想いを桜カードにご記入いただき、桜の枝に飾っていただきました。ご記入いただいた願い事は、桜神社へ奉納されました。

ショコライオンに花を添えて

店頭プロモーション

福岡花商協同組合様、北九州生花商協同組合様の呼びかけにより、各組合員のみなさまにフラワーバレンタインのポスターとのぼりを店頭に設置していただきました。さらに、店舗ごとにオリジナルの企画を展開していただきました。

福岡県庁

福岡県花卉農協バラ部会は、福岡県庁の1階ロビーにてフラワーバレンタインの展示を行いました。ロビーには、フラワーバレンタインのPRコーナーを設置。福岡県産のバラを使用し、福岡県花商団体連合会のみなさまが作成したフラワーアレンジメントやブーケを飾り、来館者や職員の方々にフラワーバレンタインをPRしました。

福岡タワー

福岡県花き園芸連合会は、2月11日(日)～14日(水)に、福岡タワー（福岡市早良区）にてフラワーバレンタインのイベントを実施しました。福岡タワーは、福岡市内で初めて「恋人の聖地」に認定されたデートスポットです。

期間中は、フラワーオブジェの展示や一行メッセージコーナーを設置。福岡タワーに「LOVE」の文字が点灯するイルミネーションを実施しました。

さらに2月14日（水）のバレンタイン当日にタワーを訪れた恋人たちに、バラの一輪花をプレゼントしました。

タワーに「LOVE」とハートが輝きました

くまモン

昨年に引き続き、JA菊池花卉部会、マルキョウ清水店（福岡市南区）とのコラボ企画を実施。2月11日(日)、マルキョウ清水店に熊本の宣伝部長「くまモン」が登場し、JA菊池花卉部会の女性へフラワーバレンタインの花束をサプライズプレゼントしました。

花束をささげるくまモン

異業種コラボ

九州花き卸売市場連合会青年部は、昨年飲食店とのコラボ企画を実施しましたが、2018年より飲食店以外の異業種店舗ともコラボ企画を行いました。

ご参加いただいた店舗さまには、店頭にフラワーバレンタインのポスターを掲示していただき、バレンタイン期間中に予約、来店もしくは商品を購入していただいたカップルを対象に一輪花をプレゼントしました。

九州花き卸売市場連合会の13会員市場で実施した今回のコラボ企画には、九州各地の約160店舗の異業種店舗にご参加いただきました。福岡花市場、北九州花市場での実施は、36店舗にご協力いただきました。

フラワーウォーク

2月3日（土）に、JA福岡市様、JA糸島様、JAふくおか八女様、福岡花商協同組合様や福岡県花卉農協職員など福岡県内の花き業界関係者が集まり、福岡県最大の繁華街である福岡市中央区天神にてフラワーウォークを実施し、福岡県花卉農協バラ部会にご提供いただいたバラを配布しました。

当日は福岡市役所を出発し、最初の配布場所である福岡パルコ前にて一輪花束を配布しました。しかし途中で雨が降り出し、雨天時のご対応を事前にお願いしていたソラリアステージ大画面前にて配布を行いました。

花あふれるふくおか推進協議会主催によるPRイベント

花あふれるふくおか推進協議会は、福岡県内の一般消費者の方々にフラワーバレンタインを知っていただくため、福岡県内の主要都市にてさまざまなPRイベントを開催しました。

リバーウォーク北九州【開催日：2月3日(土)～4日(日)、北九州市小倉北区】、天神地下街イベントコーナー【2月10日(土)、福岡市中央区】およびJR博多駅小規模イベントスペース【2月12日(月・祝)、福岡市博多区】にて実施したイベントでは、壁面花装飾やフラワーアレンジメントの展示、フラワーアレンジメント教室、ハーバリウム教室、一輪花のプレゼントなどが行われました。

てんちかにて

福岡県内　PRイベント

福岡県内では、ほかにもさまざまなフラワーバレンタイン関連のイベントが開催されました。

2月11日(日)には、若松 花のチモト様（北九州市若松区）店舗内のカフェコーナーにて、二胡、キーボード、ベースの三重奏によるバレンタインコンサート「Flower Concert」が開催されました。参加者には、一輪花がプレゼントされました。

2月13日(火)には、フラワーShop花urara様とハンバーガーショップ「SUNRISE」様（那珂川町）によるバレンタイン全力応援イベントが開催されました。当日は「SUNRISE」様の店内にて男性限定のハーバリウム教室が開かれ、参加者たちはお母さまや奥さま、職場の方へ日頃の想いを込めたハーバリウムを作成し、相手の方に贈られました。

さらに、福岡県飯塚普及指導センター様（飯塚市）や福岡市植物園様（福岡市中央区）、JA福岡市様の農産物直売所でもフラワーバレンタインのPRを実施していただきました。

メディアプロモーション

2017年フラワーバレンタイン消費者調査（花の国日本協議会調べ）において福岡県は全国でフラワーバレンタインの認知度が一番高い県となっています。

昨年に引き続き今年も各メディアを通じてPR活動を実施。41媒体に計58回とりあげていただき、福岡県内の方にフラワーバレンタインを認知していただき、「男性の花贈り」を応援しました。

「大庭宗一博多熱風塾」にて

福岡花市場展示商談会を開催しました

福岡花市場にて、福岡県内外の生産者と買参人の方々が直接顔を合わせて商談や情報交換を行う「展示商談会」を開催しました。

これまでの展示商談会は11月開催でしたが、3回目となる今回は2月21日（水）に実施。生産者団体および個人あわせて75社69ブース（切花26ブース、鉢物26ブース、洋蘭9ブース、資材関係業者8ブース）にご出展をいただきました。

当日は鉢物の一品物も多数ご出品いただいており、14時の開場前には多くの買参人の方々が入り口前に並ばれ、14時～18時の開催時間中に、約270名にご来場いただきました。

日持ち性向上福岡セミナーが開催されました

1月30日（火）にホテルセントラーザ博多（福岡市博多区）にて、（一社）日本花き生産協会主催の『日持ち性向上セミナー』が開催され、福岡県花卉農協からは地方委員および専門部会役員研修会として、あわせて61名の皆さまにご参加いただきました。

このセミナーでは、花きの消費拡大のために不可欠な「日持ち性向上」という業界全体の課題を解決するため、各専門分野に携わる方々から最新の研究成果や業界動向をお届けいただきました。

第1部では、（一社）日本花き生産協会の新野謙司常務理事より『日本花き生産協会の日持ち性向上対策の取り組み』という題でご講演いただき、平成29年度の主な取り組みや、生産協会が行う「花き日持ち性向上生産管理基準認証制度」をご紹介いただきました。

続く第2部では、『球根植物の日持ち向上について』という題で、球根や苗、種子の全国卸売販売会社である（株）花の大和の神保正明氏にご講演いただきました。講演では、チューリップや水仙、ユリなどの花き球根の生産流通の状況や種苗会社の育種についてご紹介いただきました。神保氏は、今後の育種の方向性として、従来通り花色や耐病性を視野に入れつつも、日持ち性の高い品種を主眼とした開発に力を入れる必要があると述べられていました。

最後の第3部では、『日持ち性向上を活かした専門小売店の販売戦略』という題で、（一社）JFTDの前会長川並裕幸氏にご講演いただきました。（一社）JFTDは、「花キューピット」の愛称でおなじみの生花通信配達取引事業を運営する社団法人であり、多くのお花屋さんが加盟しています。講演では、JFTDのこれまでの品質保証の取り組みと、「日持ち性向上に関する研修や指導体制の整備」、「仕入の戦略」などこれからの取り組みについてお話しいただきました。